
高しろうぼんかんの台木について (第1報)

宮迫一郎*・坂元三好*

MIYAZAKO, I. and SAKAMOTO, M. On the Stocks of *Citrus*
Reticulata Blanco Form Kōshō. (Part. 1)

* 鹿児島県果樹試験場

わが国のぼんかん苗は、カラタチ台木で養成されて

いるので、高しようぼんかんでは接木活着歩合は低く、切接当年の第3次生長初期より春梢の葉脈が、主脈、支脈の順に黄化して落葉し、次第に夏梢に及び、根は皮部が軟腐状と成り、木質部は黒変し、接木当年又は数年以内に枯死するものが多い。枯死をまぬがれた樹はわい性となり、台木は異状肥大をなし、機械的な衝撃で簡単に台部と穂部に分離し易く、又分離しないで生長を続けても、生産量が少く、品質が悪いのでぼんかん産地に於ては柚、さつまきこく、黒島みかん、コズ、大紅みかん等の根接を行つている現状にある。

当場では昭和28年より柚、からたち、さんきつ、たちばな、シークワシア、さつまきこく、大紅みかん、クレオパトラを供試し、優良台木の選抜試験を行つているので報告する。

1. 樹容積について

昭和30年12月の生育調査に於ける樹容積は第1表のとおりで、からたち台区は生育障害現象を起し、生育が極めて劣ることが判然としたので、からたち台は自根区にきりかえて試験を継続している。

第1表 樹容積 (単位: m³)

	1	2	3	平均
柚台区	0.952	0.853	1.774	1.193
からたち台区	0.685	0.290	0.192	0.389
さんきつ台区	0.694	0.982	2.816	1.497
たちばな台区	1.175	1.312	2.475	1.654
シークワシア台区	0.971	0.964	0.485	0.807
さつまきこく台区	0.470	1.081	0.870	0.807
大紅みかん台区	1.136	1.803	0.834	1.258

第2表は昭和34年12月調査の樹容積表で有意差は認められなかったが、クレオパトラ台区、たちばな台区、さんきつ台区が旺盛な生育を示し、自根区は生育障害現象を回復して、次第に順調な生育をなしつつある。

第2表 樹容積 (単位: m³)

	1	2	3	平均
柚台区	4.04	6.09	11.92	7.35
自根(旧からたち)台区	5.23	5.66	3.63	4.83
さんきつ台区	7.11	7.04	12.34	8.83
たちばな台区	7.19	7.60	14.79	9.86
シークワシア台区	7.31	8.20	9.45	8.32
さつまきこく台区	8.74	7.98	8.56	8.43
大紅みかん台区	8.03	9.11	7.86	8.33
クレオパトラ台区	8.63	12.63	9.31	10.19

2. 主幹の肥大について

昭和34年1月調査に於ける主幹周は第3表に示すとおり、1%で有意差が認められ、たちばな台区、大紅みかん台区、さんきつ台区が最も優れ、シークワシア台区、さつまきこく台区、自根(旧からたち)区

よりも優れ柚台区、自根(旧からたち)区が最も劣ることが判然とした。

第3表 主幹周 (単位: cm)

	1	2	3	平均
柚台区	18.5	21.4	24.6	21.2
自根(旧からたち)台区	19.5	20.7	21.7	20.5
さんきつ台区	27.6	30.8	30.0	29.5
たちばな台区	28.9	29.5	35.5	31.3
シークワシア台区	27.3	25.7	30.6	27.9
さつまきこく台区	25.6	23.4	29.5	26.2
大紅みかん台区	29.0	33.3	31.5	31.3

3. 着花数について

昭和33年度の1樹当り着花数は第4表に示すとおり、たちばな台区、大紅みかん台区が多い傾向を示し、結果率では柚台区、シークワシア台区、さんきつ台区が優れた傾向を示した。

第4表 着花数 (単位: 個)

	1	2	3	平均
柚台区	626	35	702	453.3
自根(旧からたち)台区	248	415	179	280.7
さんきつ台区	645	113	471	409.7
たちばな台区	718	1,463	2,707	1,629.3
シークワシア台区	469	584	495	516.0
さつまきこく台区	662	636	96	464.7
大紅みかん台区	291	2,923	409	1,207.7

4. 収量について

昭和34年度収量は第5、第6表に示すとおりで1樹当りの収量では、たちばな台区、柚台区が優れ、次でさんきつ台区、シークワシア台区、さつまきこく台区が良い成績を示して居る。

第5表 1樹当り収量 (単位: kg)

	1	2	3	平均
柚台区	6.2	4.5	17.3	9.33
自根(旧からたち)台区	4.0	0.3	1.0	1.77
さんきつ台区	3.0	1.3	13.2	5.83
たちばな台区	3.2	8.2	20.2	10.53
シークワシア台区	2.7	3.7	7.6	4.67
さつまきこく台区	5.3	3.0	5.7	4.67
大紅みかん台区	2.5	2.4	6.0	3.63
クレオパトラ台区	1.3	2.7	8.7	4.23

単位樹容積当りの収量については、柚台区が最も多く、他の台木との間に5%で有意差が認められた。

第6表 収量指数

	1	2	3	平均
柚台区	1.53	0.73	1.45	1.24
自根(旧からたち)台区	0.76	0.05	0.28	0.36
さんきつ台区	0.42	0.18	1.07	0.56
たちばな台区	0.45	1.08	1.37	0.97
シークワシア台区	0.37	0.45	0.80	0.54
さつまきこく台区	0.61	0.38	0.67	0.55
大紅みかん台区	0.31	0.26	0.76	0.44
クレオパトラ台区	0.15	0.23	0.93	0.44

(註)：収量指数=収量(kg)/樹容積(m³)

1果平均重は第7表に示すとおりで、クレオパトラ台区、大紅みかん台区、シークワシア台区が大きく、

たちばな台区が小さかつた。

第7表 1果平均重 (単位: gm)

柚台区	151.2	さんきつ台区	142.2
さつまきこく台区	147.3	クレオパトラ台区	160.8
たちばな台区	132.1	自根(旧からたち台)区	151.3
シークワシア台区	155.6	大紅みかん台区	159.9

以上、試験7年目までの生育状態を総合すると、か

らたちを除いた他の台木は、高しよぼんかんと親和性は認められるが、特にクレオパトラ台区、たちばな台区、さんきつ台区が生育旺盛で、中でもたちばな台区、さんきつ台区は収量も多い。柚台区は着花(果)が多いので、摘花(果)を充分行えば生育も旺盛となり有望と考えられる。